

2 月度 < 第 29 回 >

会長の時間

平成 26 年 2 月 13 日

【世界理解月間】

世界理解と平和の日（2 月 23 日）//ロータリー創立記念日

先週（2/6）ロータリー情報委員会及び親睦活動委員会によりコラボ開催いたしました「新入会員研修会」では、多数のご出席を頂くと共に福本・川戸委員長には、大変ご苦勞をお掛けいたしました。

また、講師の福田直前会長始めご出席頂きました入会 3 年未満の会員（10 名）の皆様にもお礼を申し上げます。有難う御座いました。ご出席頂きました新入会員の皆様にも、ロータリーが若干なりとも、ご理解頂けたのではないのでしょうか！今後共、ロータリー活動でのご活躍を期待したいと思います。

さて、ソチオリンピックでは、期待する選手も、メダルにあと一歩届かずヤキモキしておりましたが、日本人メダル第 1 号は、5 日目の 11 日に行われたスノーボード男子・ハーフパイプで平野選手が銀・平岡選手が銅メダルに輝きました。何と、二人は 15 歳の中学生と 18 歳の高校生というから二度ビックリしました。その上、平野選手は、15 歳 74 日でスキー・スノーボードといった雪上競技で史上最年少メダリストとなりました。次の 18 年ピョンチャンはもちろん、

8年後、12年後（27歳）日本のエースとして活躍してくれる…と、期待が膨らみます。

先週、宇部日報の脇コラムに、「厚東氏の興亡」展が、山口県立博物館で、2月16日（日）まで開催されると有り、興味津々で、11日行って参りました。

ご存知のように、厚東氏は、物部氏を祖先とした地方豪族で、平安時代後期（西暦950年頃）から厚東、棚井に本拠地を置き霜降城を築き鎌倉幕府の御用人にまでなつたと言われております。

そして、7代「武光」は、1185年（壇ノ浦の戦い）では、長府の先で源義経に加勢し、勝利に貢献したとして長門の国の武将となります。その後、14代「武実」は、鎌倉幕府滅亡から室町初期にかけての当主でその活躍からぶりから名将といわれ、足利尊氏が九州に逃げる折、200曹余りを出し助け黄金時代を築きます。

中でも、1335年（建武2年）持世寺を再興して土地を寄進します。

その時の書状「厚東武実寄進状案」の中に、漢字で初めて「宇部」という地名が出てきます。（今から679年前）のでご覧ください。

その後、代は続きましたが17代「義武」の時「幸政」という弟がいましたが、兄弟仲が悪く不和となり家臣の間でも乱れていきます。

そして、1358年（延文3年）正月に、私と光井さんのような酒好きの武将がいて、よもや正月に攻めては来ないだろうと酒を振る舞っていた時…

このチャンスを逃すこと無く、周防の大内弘世の奇襲に合い正月2日霜降城は落城し、長府に逃げるも大内弘世に再び攻められ厚東氏約400年の歴史の幕が降ります。

しかし、九州・関西・西中国でも、厚東氏の血を引く者たちが生き延びていた痕跡も確認できているそうです。皆さんのその末裔かも知れません。この続きは是非とも山口県立博物館で2/16まで開催しておりますので、宇部出身の方そうで無い方に関わらずご家族で足を運んでみてはいかがでしょうか。

それでは、本日もロータリーライフをお楽しみ下さいますようお願いし会長の時間といたします。